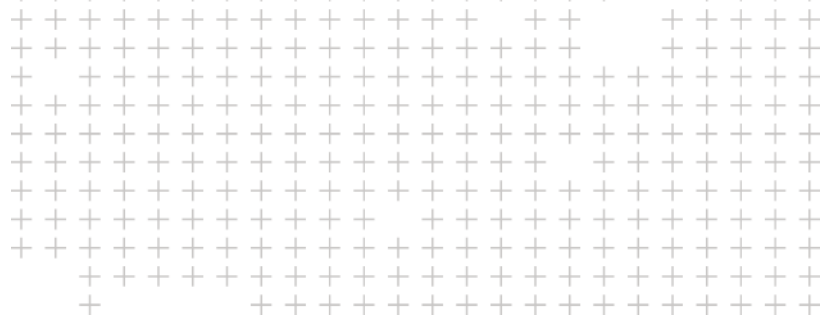




GUIDER ZERO

Version 2.7.0.0

改良内容のご紹介



本書では代表的な改良内容をご紹介します。

その他の改良内容につきましては、別紙「アップデート一覧」も合わせてご覧ください。

また機能の詳細につきましては、ソフトウェアご利用中の F1 キーやメニュー [ヘルプ] からヘルプを参照してください。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です

このソフトウェアは Apache 2.0 ライセンスで配布されている製作物が含まれています <https://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

はじめに

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

GUIDER ZERO の最新バージョン Version 2.7.0.0 の改良内容をご紹介します。

このバージョンの概要

路面標示（現況コマンド）

路面標示を作図する専用コマンドを用意しました。

「最高速度 40」や「止まれ」、「進行方向」など、現場に応じた路面標示を素早く簡単に作図できます。

車線（現況コマンド）

道路の車線を作図する専用コマンドを用意しました。

車線の種類や破線の間隔、左右オフセットなどの設定が可能で、直線区間と円弧区間を組み合わせた作図ができます。現場の状況により近い状態を再現できます。

駐車範囲（現況コマンド）

駐車範囲を作図する専用コマンドを用意しました。

縦幅、横幅のサイズは自由に設定可能で、現場の状況に応じた駐車範囲を作図できます。

その他改良

CAD 編集の効率化を図るための機能改良も行いました。ぜひ、ご利用ください。

なお、本書では代表的な改良内容をご紹介します。

GUIDER ZERO Ver.2.7.0.0 のその他内容につきましては、別紙「アップデート一覧」も合わせてご覧ください。

目次

はじめに.....	- 3 -
このバージョンの概要	- 3 -
目次	- 4 -
機能改良のご紹介 現況 CAD オプション.....	- 5 -
路面標示	- 5 -
車線	- 6 -
駐車範囲	- 6 -
ゼブラゾーン	- 7 -
機能改良のご紹介 CAD アプリ	- 8 -
線分（放射）	- 8 -
複写	- 8 -
線修正	- 9 -
機能改良のご紹介 GUIDER ZERO 基本機能.....	- 10 -
図形基本属性設定.....	- 10 -
印刷・印刷プレビュー	- 10 -
ご注意.....	- 11 -
● 動作環境について	- 11 -
● データの互換性について	- 11 -
● 標準ユーザー権限での利用について	- 11 -

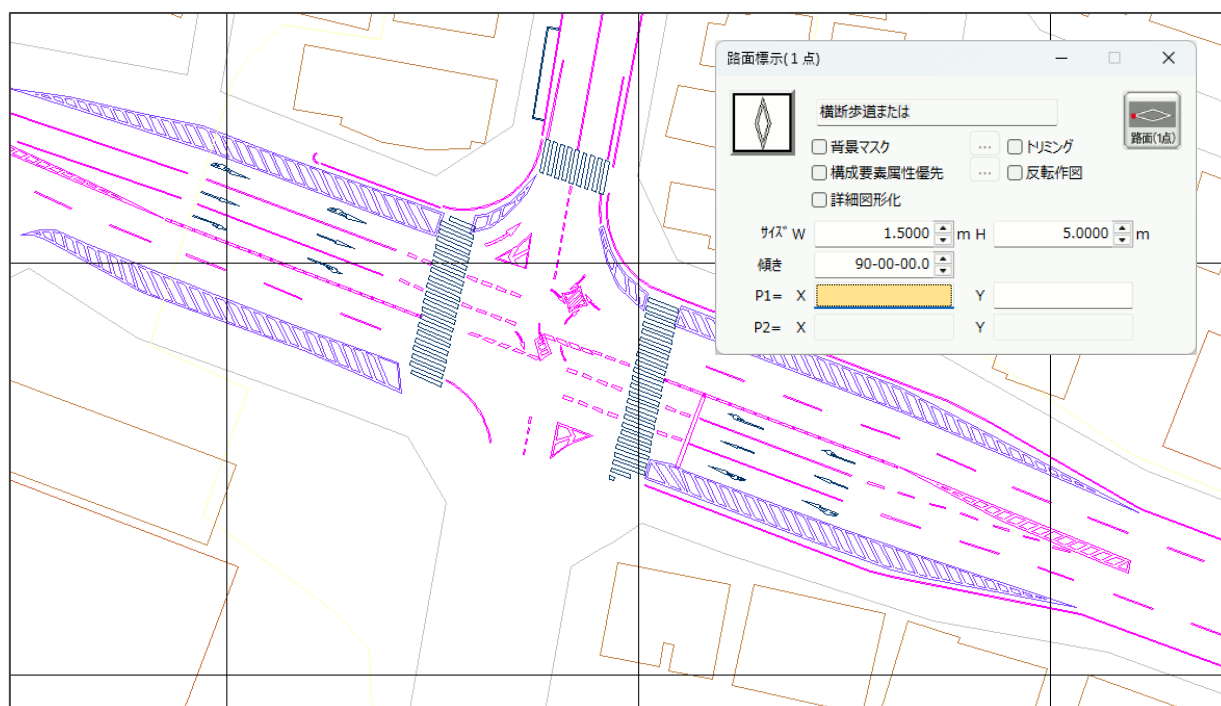
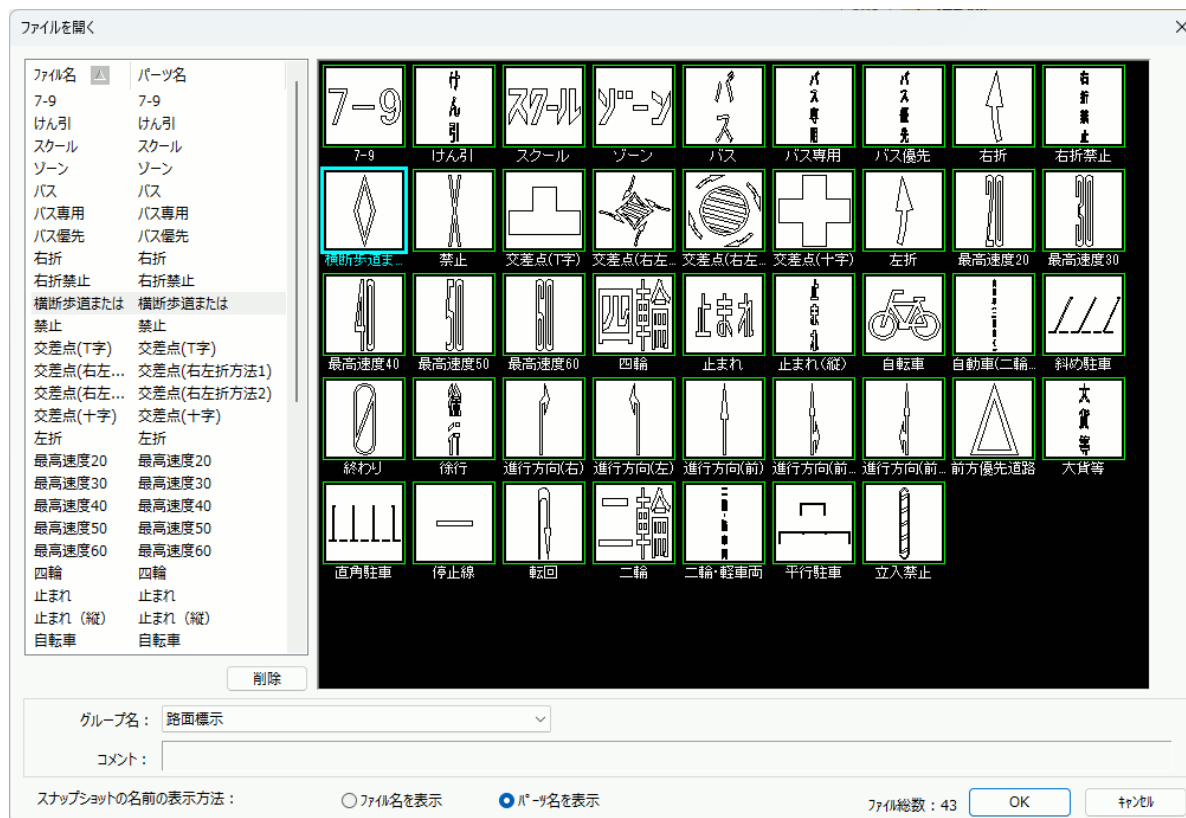
路面標示

NEW 現況 CAD

「最高速度 40」や「止まれ」、「進行方向」などの路面標示を作図する新しいコマンドを追加しました。

路面標示のパーツを選択して、1点、2点、1点方向で配置できます。

・リボンより現況>路面標示>路面標示



車線

NEW 現況 CAD

道路の車線を作図する新しいコマンドを追加しました。

車線の種類や破線の間隔、左右オフセットなどの設定が可能で、直線区間と円弧区間を組み合わせた作図ができます。

・リボンより現況＞路面標示＞車線

車線

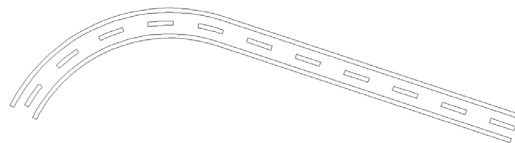


設定

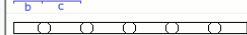
a 0.1500 m b 5.0000 m c m 切口 0-00-00.0

配置基準 ☐ 中央 ☐ 右 ☒ 左 離れ 1.0000 m

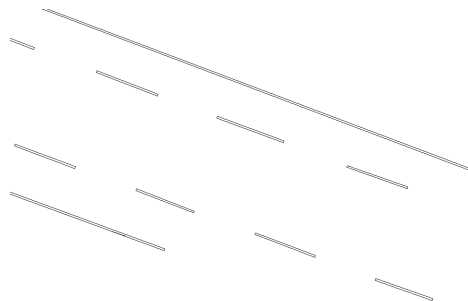
単線 X Y



車線 (初期値設定)

	a	b	c	切口
	0.150	—	—	0-00-00.0
	0.150	5.000	—	0-00-00.0
	0.150	2.500	5.000	0-00-00.0
	0.150	0.150	—	0-00-00.0

登録 呼出 編集 OK キャンセル



駐車範囲

NEW 現況 CAD

駐車範囲を作図する新しいコマンドを追加しました。

縦幅、横幅のサイズは自由に設定可能で、現場の状況に応じた駐車範囲を作図できます。

・リボンより現況＞路面標示＞駐車範囲

駐車範囲

形状: 4: 平行 (複数) ☒ 縦幅 2.0000 m

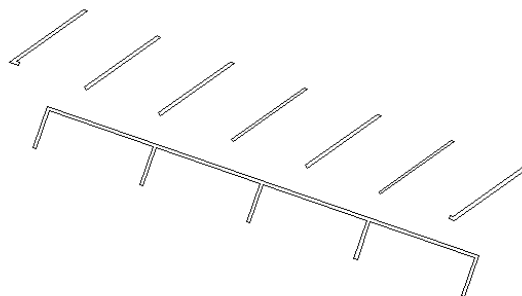
線幅 0.1500 m 間隔 5.0000 m フック幅 0.1500 m

P1 = X Y

P2 = X Y

P3 = X Y

作図開始



境界線にオフセットを付けて幅線を作図できる機能を追加しました。

・ リボンより現況>路面標示>ゼブラゾーン

ゼブラゾーン作図

ゼブラゾーンタイプ
☐ 片側（斜線型） ☒ 両側（山型） ※基準線は2点指定です

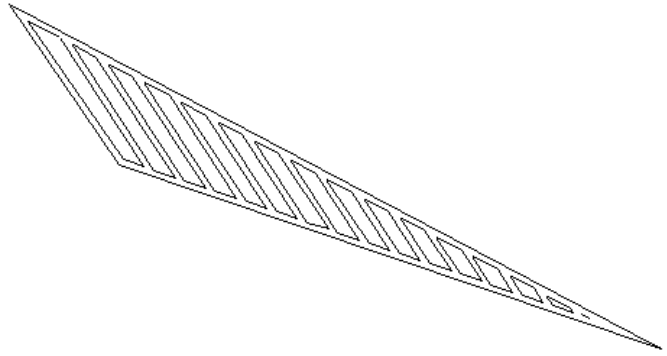
構成点指示
 基準線 XY X Y
 幅線1 XY X Y
 幅線2 XY X Y

展開基準点
 展開原点 X Y

ゼブラ形状
 幅 0.4500 m 間隔 1.0000 m
 傾き 45-00-00.0 ☐ 反転
 位置 ☒ 上 ☐ 中 ☐ 下
☒ 境界線 境界線幅 0.4500 m

端部処理
 基準側 ☒ 閉合 ☐ 開放 離れ 0.0000 mm
☐ 矩形 ☒ 斜め
 幅側 ☒ 閉合 ☐ 開放 離れ 0.0000 mm
☐ 矩形 ☒ 斜め

作図開始

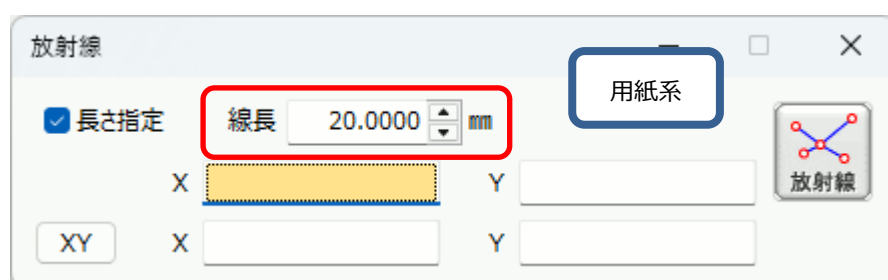
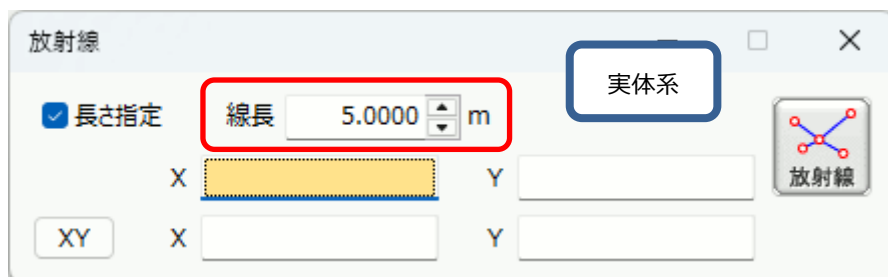


線分（放射）

UP CAD アプリ

放射線の線長を入力座標系（用紙系／実体系）に従って入力できるよう改良しました。

・ [リボンより作図](#) > [図形](#) > [線](#)

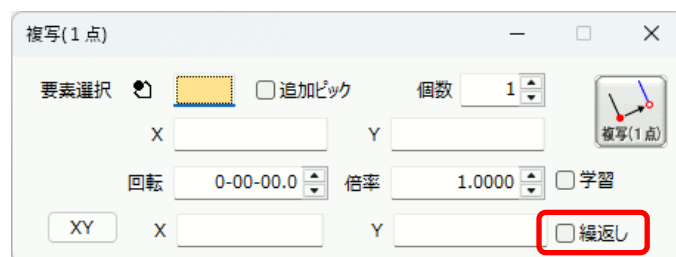


複写

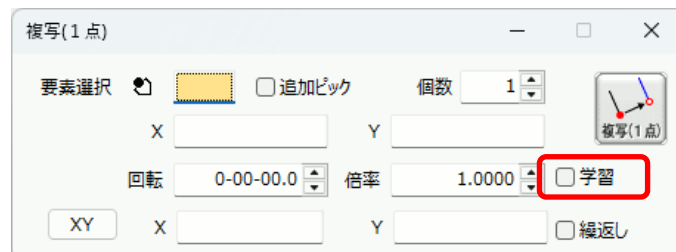
UP CAD アプリ

複写（1点）に「繰り返し」の条件を追加し、繰り返して複写できる機能を追加しました。

・ [リボンより編集](#) > [編集](#) > [複写](#)

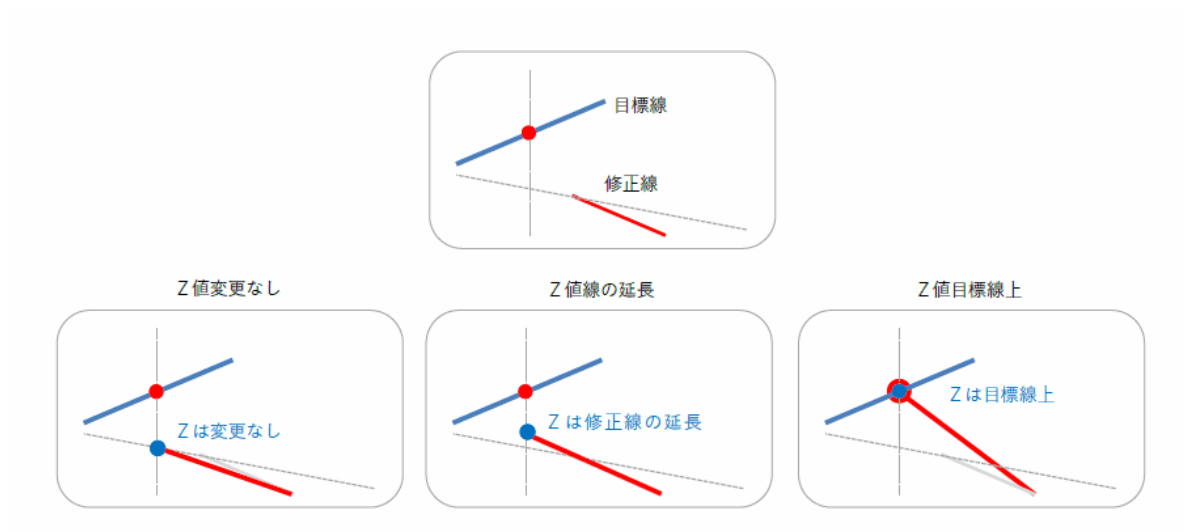
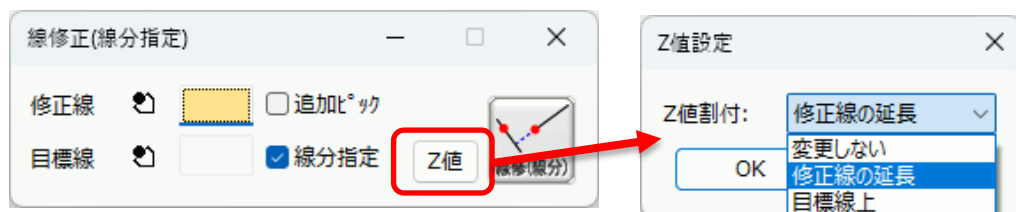


また、回転角度と倍率を学習する機能も追加しました。この機能により、指定した回転角度の値を次回コマンド起動時の初期値として設定できます。



修正線の端点高さを「変更しない」「修正線の延長」「目標線上」のいずれかを指定できる機能を追加しました。

・リボンより編集＞編集＞線修正



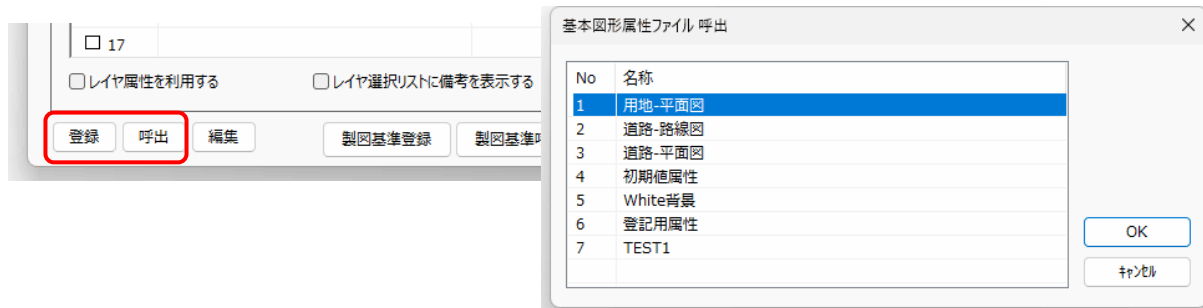
図形基本属性設定

UP 基本機能

設定の登録・呼出機能を追加しました。

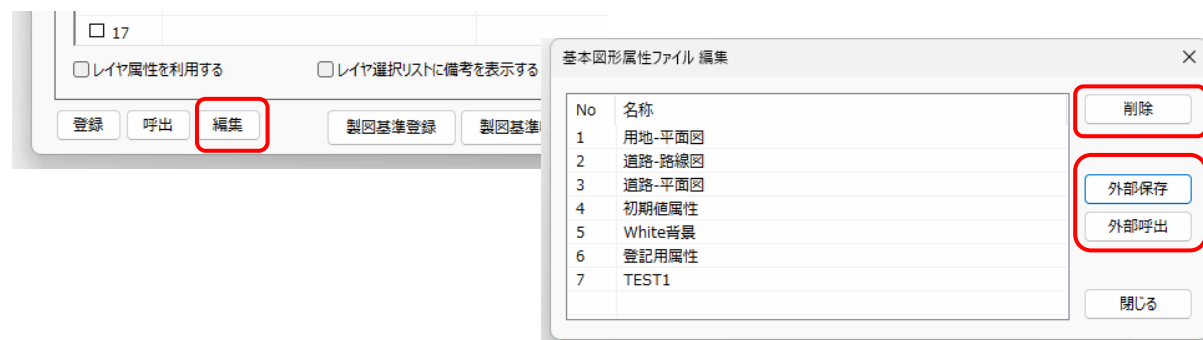
設定内容を環境条件として登録し、必要なときに呼び出すことができます。

・リボンより設定＞各種設定＞図形基本属性



また、設定の編集機能も追加しました。

設定の削除や保存先を指定して外部へ保存、外部から呼び出しできます。



印刷・印刷プレビュー

UP 基本機能

印刷の「プリンタ設定、配置設定、ペン設定、描画設定」の設定を登録・呼び出しできる機能を追加しました。

・リボンよりファイル＞印刷＞印刷、プレビュー



その他の機能改良に関しては、別紙「アップデート一覧」も合わせてご覧ください。

ご注意

● 動作環境について

GUIDER ZERO Version 2.7.0.0 の動作環境は、以下の通りです。

OS	Windows 11 / Windows 10
CPU, メモリ	各 OS が、推奨するスペック以上
HD 空き容量	1GB 以上
解像度, 色数	1,024×768 以上 (1,280×1,024 以上推奨) / 16,777,216 色 (24bit)

64bit OS は、32bit 互換モード(WOW64)での動作となります。

仮想 OS 上での動作は保証いたしません。

Windows 10 では「タブレットモード」ではなく「デスクトップモード」でご利用ください。

● データの互換性について

本バージョンでは、図面データ構造の拡張は行っておりません。

本書提供時の最新バージョンは「TOWISE Version 6.7.0.0」および「GUIDER ZERO Version 2.7.0.0」です。

● 標準ユーザー権限での利用について

標準ユーザー権限でご利用際は、以下の点にご注意ください。

- ◆ インストールには管理者権限が必要です
- ◆ 一部の機能の実行には管理者権限が必要です※

※ 管理者権限が必要な機能：

ライセンスモニターのプログラム管理情報の更新

Trimble ライセンス認証



改良内容のご紹介

